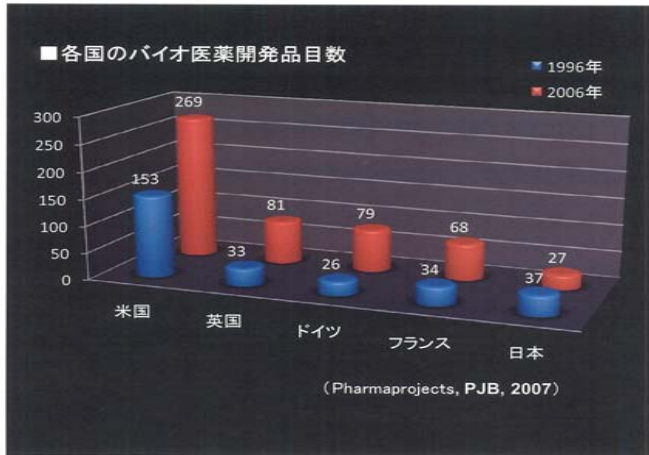


「よりよく生きる」領域

【現状分析(臨床研究・臨床への橋渡し研究)】

昨年のiPS 細胞の成果など、我が国から画期的な技術が誕生しているが、このような革新的技術の進展の成果を、いち早く新しい医薬品などとして国民に還元して行くためには、制度的な課題の解決や、技術を社会に還元するための臨床研究・臨床への橋渡し研究の更なる強化が必要な状況にある。



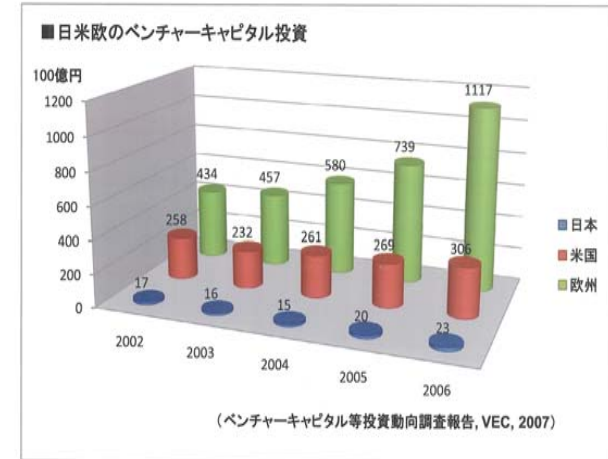
我が国のバイオ医薬品の開発品目数は、減少している。

⇒研究成果を実用化に結びつける基盤の強化が不可欠。



我が国の臨床研究分野の主要医学雑誌に掲載された論文数は、欧米に比べ少ない。

⇒基礎研究の成果を実用化する橋渡し研究・臨床研究の強化が必要。



我が国のベンチャーキャピタル投資額は、欧米に比べ少ない。

⇒投資環境の改善を含めたベンチャー支援体制の強化が必要。

「よりよく生きる」領域

【対応状況(臨床研究・臨床への橋渡し研究)①】

健康研究推進会議を健康研究の司令塔機能として設置。

○総合科学技術会議（平成20年6月19日 開催）

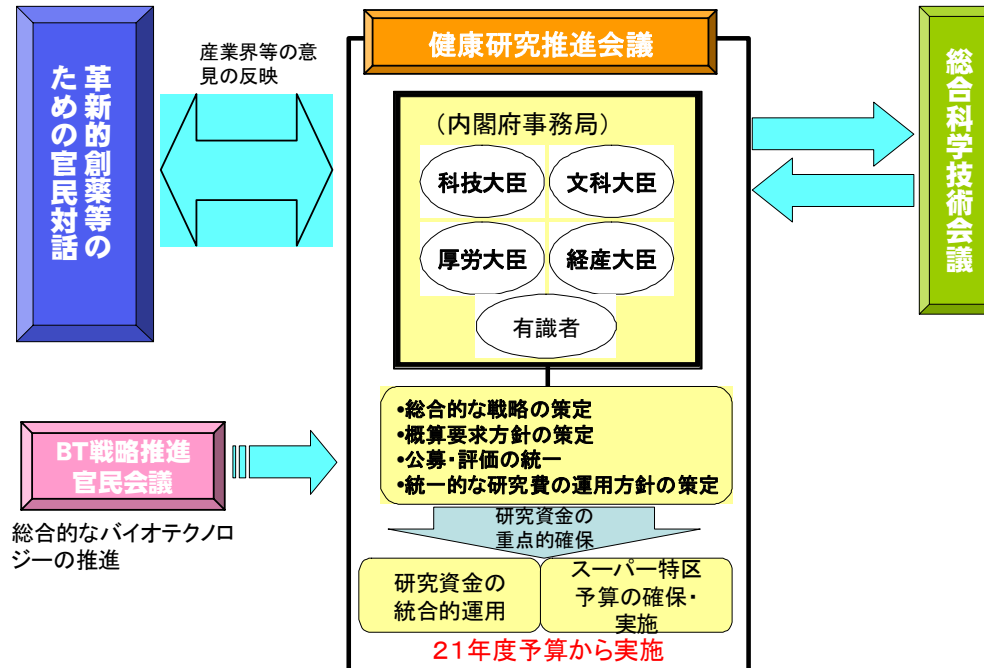
「平成21年度の科学技術に関する予算等の全体の姿と資源配分の方針」(関係部分抜粋)

- ・府省の枠を超えた一体的な施策の推進。

健康研究分野(橋渡し研究・臨床研究)を初めての例として、関係府省合同での戦略策定、予算編成への取組を開始する。

○健康研究推進会議を設置（平成20年7月22日 決定）

- ・橋渡し研究・臨床研究の司令塔機能。
- ・内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣及び有識者から構成。
- ・概算要求方針を策定するとともに、橋渡し研究・臨床研究について、総合的な戦略を策定する。
- ・先端医療開発特区(スーパー特区)制度の実施。

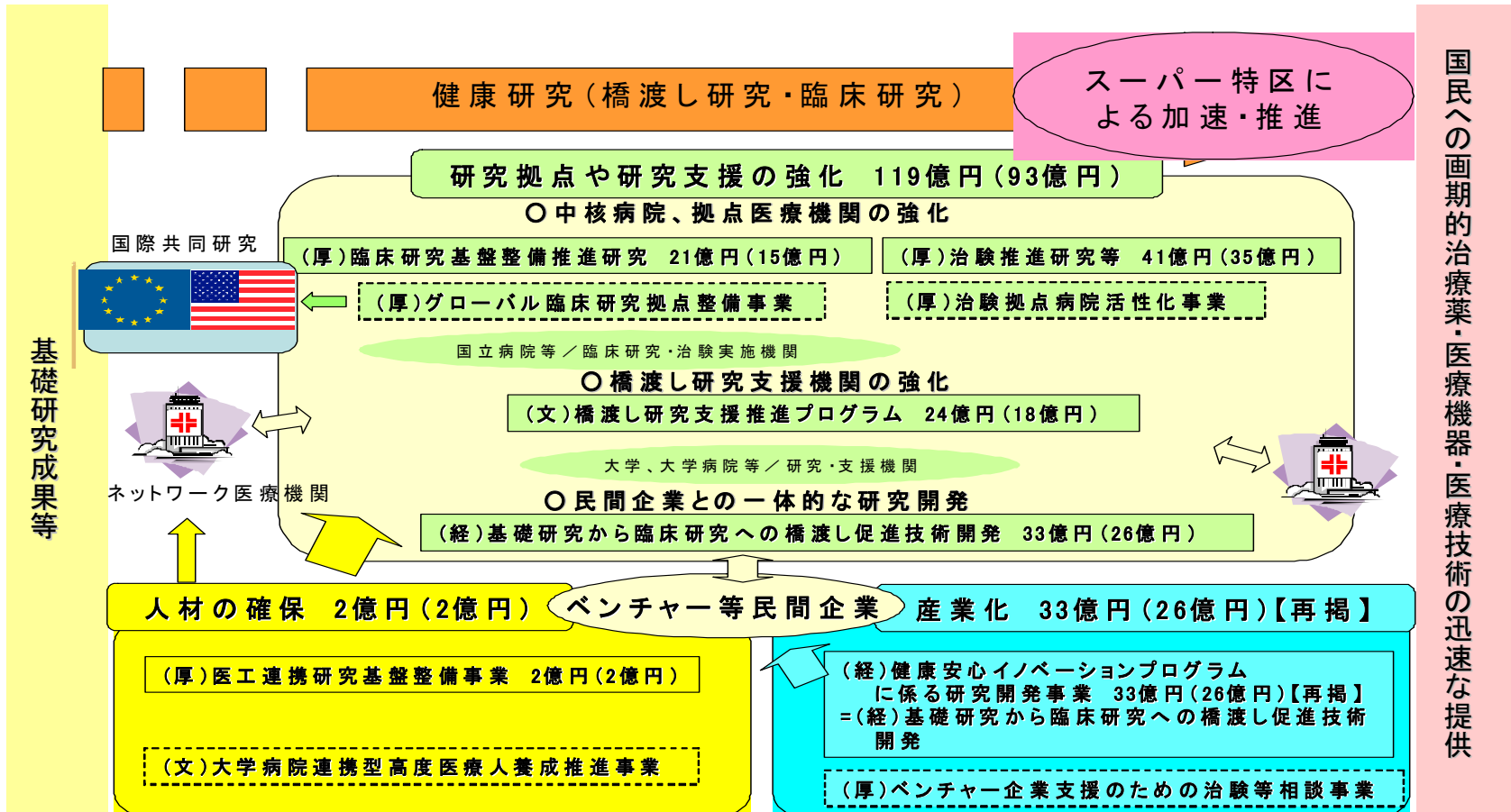


「よりよく生きる」領域

【対応状況(臨床研究・臨床への橋渡し研究) ②】

- ・健康研究会議で決定した概算要求方針に基づき、府省の枠を超え、我が国として統一かつ重点的な概算要求を実施。
- ・また、本年7月、「スーパー特区」を創設し、24課題を採択し、最先端の再生医療、医薬品・医療機器の開発・実用化を推進している。

平成21年度健康研究関係施策政府予算案 121億円(95億円)



※平成21年度健康研究概算要求方針に基づく施策のうち、□:科学技術振興費 [] :科学技術振興費以外。()内は、昨年度予算額。